

【河川教育】6

石狩川振興財団では関係機関・市民団体等の支援として石狩川の水害や治水の歴史、水利用、流域の風土、水文化、防災、河川環境及び川の安全利用などをテーマに学習活動を実践しています。



実践拠点「千歳市防災学習交流センターそなえーる」

平成26年11月15日（土） 『洪水DIG(災害図上訓練)』

【活動の概要】

当財団では、洪水を対象としたDIG(災害図上訓練)の申込み受付を、ホームページ上で公開しています。

これを見た石狩市の社会福祉協議会からの実施申込みを受け、11月15日に千歳市防災学習交流センターそなえーるで、DIGを開催しました。

参加者たちは、明治29年と現在の地図を重ね合わせ変化を調べたり、避難物資カードを使ったゲームなどを通じて、災害や自分たちのまちと川との関わり等を学びました。

また、一緒に参加してくれた子供達には、マグネット釣りも行ってもらい、楽しみながら学習をしてもらいました。

【主催】

社会福祉法人石狩市社会福祉協議会

【参加対象者】

防災・災害ボランティア活動に関心のある方

【参加人数】

19名

【日時】

平成26年11月15日（土）

【場所】

千歳市防災学習交流センターそなえーる

【アンケート結果】

- いつ地震がおきてもいいように準備だけはしよう。何かあったらおそいから。
- とても良い経験になりました。
- 今後地域の為に役立てたいと思う。
- 今日は参加してよかったと思います。先日町内の防災に参加して、防災にとっても興味を持ちました。石狩でも、もっと多くの方が参加してくれたらと思います。
- 楽しかったです。もっといろいろな話を聞いてみたかったです。こどももたのしんでいました。
- ちけいに線を引くやつが、おもしろい。
- 体験出来たのが良かった。
- 興味がある人のみではなく、町内会単位でより多くの人参加ができる仕組みを検討できれば良いと思います。
- 子どもと一緒に参加できたのがすごく良かったです。体験もすごく良かったです。地域に密着したDIGがとても参考になって今後の為になりました。
- 大変参考になりました。



まずは基礎知識の学習から



大人と子供と一緒にDIGを実施



明治 29 年の地図と重ねると随分変わっています



ごほうびのマグネット釣り。うまく釣れるかな



どこにどうやって避難しようかな？



避難持ち出しカードを使って何を持ち出すか議論百出